

令和元年度 第1回小田原高校学校運営協議会 議事録

令和元年6月26日(水) 15:15～17:00

小田原高校 第1会議室

司会 副校長 岩本 明子

全日制の授業視察後

1 校長あいさつ

[校長・林 忠]

2 出席者紹介

3 学校運営協議会

○各部会について説明

○学校運営協議会議長として石野郁也氏を選出

○各課程グループより学校要覧を資料として今年度の目標設定について説明

【全日制】

〈キャリアガイダンスG〉

○夏期講習については、昨年度2,271名の申し込みがあったが、今年度は2,377名と前年度を上回り、目標を達成することができた。

〈総務G〉

○今年度も生徒の安心安全のため防災教育を充実させる。また、年3回行っている地域の貢献活動を引き続き行う。

〈生徒支援G〉

○生徒会活動については課題を生徒に提示しながら主体的に課題解決を図るような取組をしていく(別紙参照)。また、今年度の体育祭はグラウンドを使用するため騒音などで近隣の方にご迷惑をおかけすることもあるがよろしくお願ひしたい。

〈教務G〉

○令和2年度入試は特色検査が復活するためマニュアルの見直しが必要になる。

〈広報情報G〉

○HPのリニューアルを行った。また、令和2年度の入試から特色検査を実施するため、学校説明会において問題解説を導入する予定。

〈研究開発G〉

○履修説明会が7月5日に行われる。夏休みにはオープンキャンパスに行くなど進路選択について考えるよう促したい。また、令和4年度の学習指導要領改訂に向けて教育課程編成に取り掛かりたい。

【定時制】

〈学習支援〉

○授業に参加したという実感のもてる授業を展開したい。

〈教育活動〉

○教育相談コーディネーターを中心に SC や SSW を活用し生徒を支援していく必要がある。進路については就職決定率が上昇した。地域貢献活動については生徒の意識付けをして参加者を増やしていきたい。

4 委員からの意見

- ・様々な意見があるが、やりがいがある、期待されているとポジティブに捉えてほしい。
- ・学校を支援するために風通しの良い会にしたい。
- ・評価の観点が分かりやすい
- ・全日制の授業風景が見られてよかった。生徒たちはのびのびとしていた。みんなで一緒に頑張れたらいいなと感じた。
- ・城山中学においても県西地区外の学校に行く生徒が多い。県西地区の割合を増やしていけるといいなと思う。
- ・先生以外の人に本心が言えるといい。また、離職者の再就職支援をしている。支援が必要な生徒が多いので是非 NPO のようなところも活用してほしい。また、小田高環境フォーラムに地元の子供たちも参加してほしい。
- ・北条にまつわるような活動をしてはどうか。小田原高校の役に立つ活動をしたい。
- ・私立高校の取組を紹介したい。

5 その他

今後の予定

第2回 11月22日（金）

第3回 3月上旬から下旬